

今回も、毎年実施されている全国学習状況調査についてお知らせしたいと思います。

第6学年全員を対象に5月に実施されています。教科は国語、算数の2教科です。

時間は各教科45分間、内容は1年生から5年生までの内容になっています。

今回は国語について紹介します。(算数については前号で紹介しました。)

大きな設問は3つあります。小問が全部で14題あります。

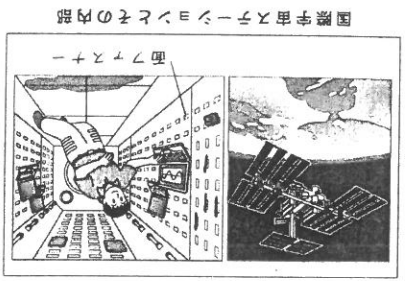
問題形式の大きな特徴は、「日常生活において、国語で学習したことをもとに、与えられた説明や解説などの文章を読み、表現や処理をすることができるとか。」の育成を目指したものにしていることです。特に質問に答えて、中心となる語や文を見つけて要約したり、文章と図を結び付けて書かせたりする傾向が顕著になっております。

設問2は、身近にある便利なものについて調べた「面グラフ」の説明文です。

3つの条件が提示されていて、『面グラフが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているか。』を記述する問題です。条件として、

☆面グラフの大きさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているか。☆50字以上、70字以内にとめて書くこと。説明文から言葉や文を取りあげて書くこと。

などがあります。この場合、正答例は1通りあります。以下、問題文と正答を掲載します。



国際宇宙ステーションとその内部

宇宙飛行士が生活する空間は、地球上の空間とは異なり、重力がほとんどない状態です。そのため、宇宙飛行士は特別な服を着用し、特別な食料を食べて生活しています。

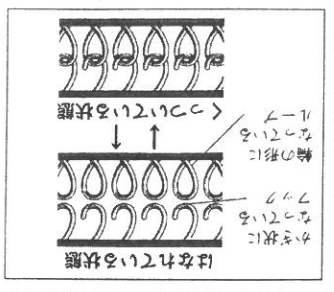
また、宇宙飛行士は、地球上とは異なる環境の中で生活するため、特別な設備が必要となります。

国際宇宙ステーションは、地球上から約400kmの高さにあり、約280日かけて地球を1周します。

このステーションには、実験室、観測室、生活区画などがあり、宇宙飛行士はここで生活しながら、様々な実験や観測を行っています。

また、このステーションは、国際的な協力によって構築されており、各国の宇宙飛行士が共同で生活しています。

このように、国際宇宙ステーションは、人類の宇宙探査と科学研究にとって重要な役割を果たしています。



面グラフの仕組み

面グラフは、円形をした物体が、互いに接触している状態と、互いに離れている状態とを繰り返して描かれたものです。

この図は、面グラフの仕組みを示しています。上側の状態は「はなれている状態」、下側の状態は「はなれていない状態」を示しています。

また、この図には「はなれている状態」と「はなれていない状態」の両方が描かれています。

このように、面グラフは、物体の接触状態を表現するための図です。

この図は、面グラフの仕組みを示しています。上側の状態は「はなれている状態」、下側の状態は「はなれていない状態」を示しています。

また、この図には「はなれている状態」と「はなれていない状態」の両方が描かれています。

このように、面グラフは、物体の接触状態を表現するための図です。